

平成24年度事業報告

1. 常設委員会の活動

(1) 理事会・総会

- 1) 平成24年度の理事会、総会を下記の通り開催した。
理事会：平成24年5月12日(土)、6月9日(土)、7月14日(土)、8月21日(火)、
10月6日(土)、12月8日(土)、平成25年1月12日(土)、3月2日(土)
通常総会：平成24年6月9日(土)
臨時総会：平成24年8月22日(水)
- 2) 体罰・暴力の根絶のために理事会として平成25年1月31日に緊急声明を出した。

(2) 庶務委員会

- 1) 平成24年度事業計画の実行を諸委員会と連携を図りながら進めた。
- 2) 平成23年度事業報告を作成した(通常総会承認)。
- 3) 平成23年度に引き続き、体育系諸学術団体と連携して設立した「日本スポーツ体育健康科学学術連合」の運営に参加した。
- 4) 平成25・26年度役員選挙に向けた「選挙細則検討委員会」において、男女共同参画の趣旨に則った改訂案(理事女性枠、副会長1名増枠など)を通常総会に提案し、承認された。
- 5) 平成25・26年度代議員ならびに役員選挙を実施した。
- 6) 平成25年4月1日付け名誉会員について検討した(臨時総会承認)。
- 7) 平成25年度事業計画(案)を作成した(臨時総会承認)。
- 8) 会員数(平成25年3月31日現在)
正会員：5,800名(24年度5,844名)、賛助会員：7名、名誉会員：90名、
購読会員：93名

(3) 会計委員会

- 1) 平成23年度収支決算書を作成した(通常総会承認)。
- 2) 地域および専門領域への補助金の配分手続きを行った。
- 3) 平成24年度補正予算を作成した(臨時総会承認)。
- 4) 平成25年度予算書を作成した(臨時総会承認)。
- 5) 日本教育シューズ学校体育振興基金に補助金の申請を行った。
- 6) 国立大学法人福島大学と子どもたちの健やかな成長を図ることを目的とする受託研究契約を結び、補助金を配分した。
- 7) 第63回大会のシステムに改良並びに新サーバ設置について検討し、予算を配分した。
- 8) 現行の経理システムの改善について検討した。

(4) 「体育学研究」編集委員会

- 1) 「体育学研究」第57巻をオンラインジャーナルとしてJ-Stageに掲載し、冊子体の印刷配布を行った。

- 2) 投稿規定の改正を行った(通常総会承認)。
- 3) 論文審査に関する申し合わせ、論文審査要領の改正を行った。

(5)「国際誌」編集委員会

- 1) 「International Journal of Sport and Health Science」第10巻をオンラインジャーナルとしてJ-Stageに掲載した。
- 2) 一般社団法人への移行に伴い投稿規定(通常総会承認)・内規・申し合わせの改正を行った。
- 3) 二次出版論文1編が掲載された(IJSHS 第10巻)。

(6)学会大会委員会

- 1) 第63回大会のプログラムを検討し、学会大会のさらなる充実に向けて、本部企画シンポジウム、全国体育系大学学長・学部長会および大学体育連合との連携・協働を進め、共催企画シンポジウム等を実施した。
- 2) 第63回大会発表者のために、平成24年度特別共同研究者の認定を行った。
- 3) 第64回大会(平成25年8月28日-30日)の準備を立命館大学と連携を図りながら進めた。
- 4) 第65回大会(平成26年8月)を岩手大学(東北・北海道ブロック)において開催することを決定した。また、同大会において、国際シンポジウムを開催することを決定した。

(7)国際交流委員会

- 1) 中国との国際交流協定に基づき第63回大会において会員(2名)の招聘を行った。
- 2) ドイツスポーツ科学学会との国際交流協定に基づき会員(1名)の派遣を行った。
- 3) 国際交流の現況から委員会内規の改訂を行い、ICHPER・SDから退会した。

(8)企画委員会

- 1) 第63回大会での本部企画シンポジウムの立案を行った。
- 2) 国際シンポジウム(平成26年8月)開催に向けた企画を、関連する委員会と共同で検討した。

(9)広報委員会

- 1) 平成23年度に引き続き、ホームページのさらなる充実(内容の工夫、他機関とのリンク等)を検討すると共に、各種情報の更新を行った。

2. 特別委員会の活動

(1)東日本大震災対応特別委員会

- 1) 会員の被災状況を調査すると共に、被災会員への平成24年度会費の免除処置を行った(免除適用会員9名)。

(2) 学会大会運営システム検討特別委員会

- 1) 2012. 4. 5 第 63 回大会参加登録システムを新規に稼働させ受付業務を開始した。
- 2) 2012. 5. 10 抄録の文字化け、共同研究者の並び順が入れ替わってしまう、共同研究者が重複コピーされてしまうなどのシステム不備が発生。
- 3) 2012. 5. 16 エレメント社、事務局にてシステム不備によって生じた問題に対応。
- 4) 2012. 6. 30 第 63 回大会参加登録システムを完全閉鎖。
- 5) 2012. 9. 5 次年度にむけて学会大会用参加登録システムの改修事項ならびに管理画面の構築について、エレメント社と打ち合わせを行う。
- 6) 2012. 10. 6 改修ならびに管理画面の構築について理事会に報告、審議の上、引き続き検討することになった。
- 7) 2012. 11. 20 理事会で指摘された改修内容の見直しについてエレメント社と協議。
- 8) 2012. 12. 8 改修内容について理事会に再度報告、審議の上承認された。
- 9) 2012. 12. 9 エレメント社で改修作業を開始。
- 10) 2013. 2. 1 第 64 回大会参加登録システム用の新サーバーの稼働を開始。
- 11) 2013. 2. 21 改修作業の最終確認をエレメント社と行った。
- 12) 2013. 3. 31 クレジット決済機能の運用開始。
- 13) 2013. 4. 1 第 64 回大会参加登録オンラインシステムの本格稼働・受付開始。

(3) 中期目標特別委員会

- 1) 学会の中期目標に関わる会長提案に基づき、新たなミッションの作成、それに基づく組織体と事業、及び恒常的な達成・評価体制などが諮問された。
- 2) 上記諮問に基づき、平成 24 年度より中期目標特別委員会が編成され、学会中期目標にかかわる委員会の性格、目的、機能等々について常設化を含め検討がなされた。

3. 第 63 回大会の開催

第 63 回大会を、平成 24 年 8 月 22 日(水) から 24 日(金)までの 3 日間の会期により、東海大学湘南キャンパスにおいて開催した。発表演題数は 661 題であったが、そのうち年会費未納による発表演題取消が 1 題あった。

事業報告の附属明細書

1. 学会賞・学会奨励賞・浅田学術奨励賞の選考・授与

学会賞候補として 16 編、学会奨励賞候補として 11 編の推薦があり、学会賞選考委員会(榊原浩晃委員長)において審査の結果、下記の通りそれぞれを候補とし、平成 24 年 7 月 14 日開催の理事会において決定し、8 月 22 日の臨時総会において授与した。

学 会 賞 渡辺良夫 あん馬運動における一腕全転向に関する構造体系論的研究
体育学研究 第 56 巻 第 1 号 31-46 頁

学会奨励賞 中澤篤史 なぜ教師は運動部活動へ積極的ににかかわり続けるのか：指導上の困難に対する意味づけ方に関する社会学的研究
体育学研究 第 56 巻 第 2 号 373-390 頁

浅田学術奨励賞候補の推薦があり、浅田学術奨励賞選考委員会(岡出美則委員長)において審査の結果、下記の通りそれぞれを候補とし、平成24年7月14日開催の理事会において決定し、8月22日の臨時総会において授与した。

体 育 哲 学	林 洋 輔	体育哲学におけるデカルト心身論の原理論的考究:従来のデカルト心身論批判の再検討を通して 体育学研究 第56巻 第2号 271-286頁
体育科教育学	村井 潤 他	小学校教育実習における指導の特徴に関する研究:実習生の実態を踏まえた反省会での指導に着目して 体育学研究 第56巻 第1号 173-192頁